

令和2年度 公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	高等学校 新現代社会 新訂版（清水書院）						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・現代社会の諸問題に関心を持つようにしよう。
- ・人間としての在り方や生き方についての考察を深め、良識ある人間として行動できる資質を養おう。
- ・「幸福」「正義」「公正」などの観点で社会的事象をとらえ、判断力を磨こう。

2 学習の到達目標

- ・諸資料に親しみ、情報を選択・活用して、現代社会の基本的事柄や学び方を習得する。
- ・現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見だし、広い視野に立って考察し、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚と資質を養う。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 資料活用の技能	d. 知識・理解
観点の趣旨	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用して学び方を身に付けている。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方とに関わる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート 授業態度 出席状況 ノート提出	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元 (題材)	学習内容	主な評価の 観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
前期	現代社会と人間としての在り方生き方	青年期と自己の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期と私たち ・自分らしさとは何だろうか ・現代社会と私たち 			○	○	<p>a:自己形成の課題を意欲的に追求し、現代社会に生きる青年としての自己の生き方について考察しようとしている。</p> <p>b:自己形成の課題や青年の生き方について、幸福、正義、公正などを用いて多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。</p> <p>c:自己形成の課題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、効果的に活用している。</p> <p>d:生涯における青年期の意義、社会参加などについて理解し、その知識を身に付けている。</p>	定期考査 小テスト ワークシート 授業態度 出席状況
		個人の尊重と法の支配	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の原理 ・基本的人権の尊重と平等権の保障 ・自由権的基本権の保障 ・社会権的基本権の保障 		○	○	○	○	<p>a:現代の民主社会の法に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、個人の尊重と法の支配について考察しようとしている。</p> <p>b:民主社会における個人と法について、幸福、正義、公正などを用いて多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。</p> <p>c:個人の尊重と法の支配に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、効果的に活用している。</p> <p>d:個人の尊重、国民の権利の保障、法の支配などについて理解し、その知識を身に付けている。</p>

大阪府立寝屋川高等学校（定時制の課程） 指導と評価の年間計画（シラバス）

後期	現代社会と人間としての在り方生き方	現代の民主政治と政治参加の意義	<ul style="list-style-type: none"> ・国会の役割 ・内閣の役割 ・行政機関と財政 ・裁判所の役割 ・裁判と裁判員制度 ・政党・選挙と政治参加 ・政治的教養を育む教育 	○			○	<p>a:現代の民主政治と政治参加について意欲的に追求し、民主社会における人間の在り方について考察しようとしている。</p> <p>b:民主社会において求められる価値や民主政治を基礎付ける考え方などについて、幸福、正義、公正などを用いて多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。</p> <p>c:現代の民主政治に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、効果的に活用している。</p> <p>d:基本的人権の保障、国民主権、天皇の地位と役割、議会制民主主義と権力分立について理解し、その知識を身に付けている。</p>	定期考査 小テスト ワークシート 授業態度 出席状況
		現代の経済社会と経済活動のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・金融とその働き ・財政とその働き ・雇用・労働問題 ・社会保障の意義・しくみとその課題 		○		○	<p>a:現代の経済社会の諸事象について意欲的に追求し、経済活動の在り方について考察しようとしている。</p> <p>b:個人や企業、政府の経済活動における役割と責任などについて、幸福、正義、公正などを用いて多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。</p> <p>c:現代の経済社会に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、効果的に活用している。</p> <p>d:政府の役割と財政・租税、金融、雇用・労働問題、社会保障について理解し、その知識を身に付けている。</p>	定期考査 小テスト ワークシート 授業態度 出席状況

大阪府立寝屋川高等学校（定時制の課程） 指導と評価の年間計画（シラバス）

		国際社会の 動向と日本 の果たすべ き役割	・核兵器の廃絶 と軍縮問題 ・現代の紛争	○ ○			○ ○	<p>a:国際社会の動向について意欲的に追求し、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考察しようとしている。</p> <p>b:国際平和や国際協力などについて、幸福、正義、公正などを用いて多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。</p> <p>c:国際社会の諸問題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、効果的に活用している。</p> <p>d:核兵器と軍縮問題、人種民族問題について理解し、その知識を身に付けている。</p>	<p>定期考査</p> <p>小テスト</p> <p>ワークシート</p> <p>授業態度</p> <p>出席状況</p>
--	--	--------------------------------	----------------------------	-----	--	--	-----	---	---

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現 c:資料活用の技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和2年度 公民科

教科	公民	科目	倫理（通信）	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	高等学校 新倫理 新訂版（清水書院）						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

複雑化する現代社会において、自己とは何か、よく生きるとはどういうことかを倫理で考えてほしい。そして、倫理を学習することで、人権、民主主義、平和、個人の尊重をもとにして、他者とともに生きる主体としての自己の確立に取り組んでほしい。そのためには、先人の思想や考え方を学習し、過去から現在までの思想を知り、自分の思考で、真の知識として、自分自身に取り込んでほしい。真の知識は自分の生き方に役立つものであり、自己の確立に向けてより良く生きるための指針となるであろう。

2 学習の到達目標

- ・人間尊重の精神と生命に関する知識を身につける。
- ・個人の尊重をもとに、他者とともに生きる主体としての自己の確立を目指す。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 資料活用の技能	d. 知識・理解
観点の趣旨	人間尊重の思想と生命に対する畏敬の念について、青年期における自己形成の関心を高め、青年期の諸問題を探求する態度と自覚を深める。	青年期における自己の諸問題を多面的に考察し、探求するとともに、良識ある公民としての判断と考え方を公正に表現している。	青年期における自己形成や人間としての在り方を、思想の情報を選択し、自己の確立に資するよう利用している。	青年期における自己形成や人間としての在り方を、自己の生き方につなげて、人格形成に役立てる知識として身につけている。
評価方法	課題レポート 発表活動 定期考査	課題レポート 発表活動 定期考査	課題レポート 発表活動 定期考査	課題レポート 発表活動 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元 (題材)	学習内容	主な評価の 観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
前期	人間としての自覚と宗教	・ギリシヤの思想	・ギリシヤの思想、 ・上記に関する思想、芸術、作品の学習	○	○			a:人生における哲学、芸術のもつ意義に関心がある。 b:先哲の思想を手がかりに、人間としての在り方をについて考え、適切に判断し、それを自分のことばとして表現している。 c: 人生における哲学、芸術に関して、古典、書籍、メディアから情報を収集している。 d: 人生における哲学が人間の存在にかかわる基礎的な課題であることを理解している。	・課題レポート ・発表活動 ・定期考査
		・世界の4大宗教	・キリスト教、イスラム教、仏教、ユダヤ教に関する基礎的な知識 ・上記に関する思想、芸術、作品の学習	○	○	○	○	a:人生における宗教、芸術のもつ意義に関心がある。 b:宗教の思想を手がかりに、人間としての在り方をについて考え、適切に判断し、それを自分のことばとして表現している。 c: 人生における宗教、芸術に関して、文化財や宗教施設、メディアから情報を収集している。 d: 人生における宗教が人間の存在にかかわる基礎的な課題であることを理解し、基礎的な知識を身につけている。	・課題レポート ・発表活動 ・定期考査

後期	国際社会で生きる自覚	<ul style="list-style-type: none"> 日本の風土と伝統 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の風土と伝統（万葉集、古事記、日本書紀に関する基礎的な知識） 	○	○	○	○	<p>a:日本人に見られるものの見方、考え方を理解し、日本の伝統、風土に対する関心が高まり、意欲的に探求している。</p> <p>b:日本人に見られるものの見方、考え方において、課題を見つけ、多面的に考察し、適切に表現している。</p> <p>c:日本人に見られるものの見方、考え方において、諸資料を収集し、理解を深め、国際社会での望ましい生き方を探求している。</p> <p>d:日本人に見られるものの見方、考え方を、自己とのかかわりの中で、理解し、人格の形成に役立てる知識として身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 課題レポート 発表活動 定期考査
		<ul style="list-style-type: none"> 外来思想の受容 	<ul style="list-style-type: none"> 外来思想、自然観、宗教観（儒教、西洋の近代思想） 	○	○	○	○	<p>a:日本人に見られるものの見方、考え方と外来思想を比較しながら、外来思想を日本が受容してきた経過に関し、関心が高まり、意欲的に探求している。</p> <p>b:日本人に見られるものの見方、考え方において、外来思想と対比させ、日本の思想の課題を見つけ、多面的に考察し、適切に表現している。</p> <p>c:外来思想が日本人にどのような影響を与えたかについて、諸資料を収集し、理解を深め、国際社会での望ましい生き方を探求している。</p> <p>d:日本人に見られるものの見方、考え方を、外来思想と比較させ、自己とのかかわりの中で、理解し、人格の形成に役立てる知識として身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 課題レポート 発表活動 定期考査

- ※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現 c:資料活用の技能 d:知識・理解

- ※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和2年度 公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	最新政治・経済 新訂版（実教出版）						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・ルールはなぜ必要か、核兵器はなぜなくなるか、パーソナルファイナンスの必要性など、身近な話題を切り口に、政治経済の枠組みの範囲で、現代社会の核心をつくテーマを学習します。
- ・毎回、授業の冒頭でその日の注目しておきたいニュースを取り上げて紹介します。時事に強くなることはもちろん、ニュースを見聞きすることから得られる気づきや発見を授業中に体験して、ニュースに触れることが習慣化されることを期待しています。

2 学習の到達目標

- ・政治、経済に係る諸問題に関心を持ち、政治・経済の基本的事項について理解する。
- ・現代の民主社会の構成員として、民主政治へ参加する有権者としての素養と教養を身につける。
- ・日々のニュースに触れ、情報を適切に選択し、効果的に活用する技能を養う。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 資料活用の技能	d. 知識・理解
観点の趣旨	現代の政治経済、国際関係についての関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会の実現と推進について客観的に考察しようとしている。	現代の政治経済、国際関係に関わる事柄から課題を見だし、その本質や特質、望ましい解決のあり方について広い視野にたって、多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代の政治経済、国際関係に関する諸資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の政治経済、国際関係の基本的な事柄や、本質、特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・授業態度 ・出席状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元 (題材)	学習内容	主な評価の 観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
前期	現代の政治	・現代国家と民主政治	<ul style="list-style-type: none"> ・民主政治と国家 ・法の意義と役割 ・犯罪と刑罰 ・刑法 	○		○	○	<p>a, 現代の政治への関心を高め、意欲的に課題を追求し、望ましい政治の在り方や主権者としての政治参加の在り方について客観的に考察しようとしている。</p> <p>b, 現代の政治から課題を見だし広い視野にたつて、多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c, 現代の政治に関連する諸資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して、効果的に活用している。</p> <p>d, 民主政治の基本的原理や民主政治の本質と特質を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・小テスト ・授業態度 ・出席状況
		・現代の国際政治と国際平和	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム理論 ・集団安全保障 ・核抑止論 ・軍縮の現状と課題 ・日米安全保障体制 ・沖縄と基地 	○	○	○		<p>a, 現代の国際政治や国際平和への関心を高め、国際政治の特質や国際紛争の諸要因を意欲的に追及し、集団安全保障を含めた国際社会における日本の役割について客観的に考察しようとしている。</p> <p>b, 国際政治の特質や国際紛争の諸要因について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c, 現代の国際政治・国際平和に関連する諸資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して、効果的に活用している。</p> <p>d, 我が国の安全保障と防衛及び国際貢献などの国際政治の特質や国際紛争の諸要因を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・小テスト ・授業態度 ・出席状況

後期	現代の経済	<ul style="list-style-type: none"> ・経済社会の変容 ・現代の日本経済と福祉の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・希少性と選択 ・トレードオフと機会費用 ・市場経済 ・円高不況とバブル経済 ・企業の種類 ・株式市場 ・金融 ・財政 ・日本的雇用慣行 ・社会保障 ・消費者問題 	○	○				<p>a, 現代の経済に対する関心を高め、現代経済の特質を意欲的に追及し、経済活動の在り方と福祉の向上との関連について客観的に考察しようとしている。</p> <p>b, 現代の経済から課題を見だし、現代経済の特質を多面的・多角的に考察し、経済活動の在り方と福祉の向上との関連について社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c, 現代の経済に関連する諸資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して、効果的に活用している。</p> <p>d, 現代経済に関わる経済の基本的な概念や理論を理解し、その知識を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・小テスト ・授業態度 ・出席状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・現代の国際経済 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国為替 ・円高と円安 ・発展途上国 ・国際経済の動向 	○	○	○	○			<p>a, 国際経済に対する関心を高め、国際経済の特質を意欲的に追及し、国際経済における日本の役割について客観的に考察しようとしている。</p> <p>b, 国際経済から課題を見だし、国際経済の特質を多面的・多角的に考察し、国際経済における日本の役割について社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c, 国際経済に関連する諸資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して、効果的に活用している。</p> <p>d, 為替相場や国際収支の仕組み、国際協調の必要性や国際経済機関の役割に関する基本的な概念や理論を理解し、その知識を身につけている。</p>

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現 c:資料活用の技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。